

質問4 所属する学会について <複数回答可> (その他)

| その他記述 | 件数 |
|---------------------------|----|
| 再生医療学会 | 2 |
| 日本農芸化学会 | 2 |
| ARVO | 1 |
| ウイルス学会 | 1 |
| 進化学会 | 1 |
| 日本RNA学会 | 1 |
| 日本プロテオーム学会 | 1 |
| 日本神経化学会、日本再生医療学会、 | 1 |
| 日本生物工学会 | 1 |
| 日本生物工学会、日本農芸化学会 | 1 |
| 日本繁殖生物学会、日本卵子学会 | 1 |
| 日本薬学会、日本炎症再生医学会 | 1 |
| 農芸化学会、腸内細菌学会、乳酸菌学会、食品免疫学会 | 1 |

質問6. 質問5.第37回年会コンセプトのように思われたご意見

質問5. 回答 1.よかった(賛同した)
2.よくなかった
3.特になし

| ※ | 質問5 回答 | 理由記述 |
|---|-----------|--|
| ※ | 1 | 興味ある関連がまとめてきけたこと |
| ※ | 1 | ディスカッサーがポスターにまわってきて議論することは有意義だったと思う。来年も継続してほしい。 |
| ※ | 1 | 発表者と直接、またポスター発表では発表者以外にもそのポスターに興味を持っている方と話すことで、新たな気づきがあったり、刺激が多いため。 |
| ※ | 1 | 活発な質疑が行われていた。 |
| ※ | 1 | ワークショップは参加人数も多く質問しにくい、ポスターでは詳しい話を聞きながら議論ができる。良い議論ができました。 |
| ※ | 1 | 前回までは、ポスター発表時間中では興味ある発表を見てまわりきれないことがよくあったが、今回は必要なものはワークショップで簡潔に聞き、その他をポスターで見るという分担ができた。 |
| ※ | 1 | ポスター発表中に別会場での講演がなかったことでポスター会場参加者が多く、またフリータイムができたことで自分の発表時間と重なってしまっている発表であってもディスカッションする機会が可能となった。 |
| ※ | 1 | ポスター発表は、発表者と直接討論でき、発表者も得られる情報が多いため、これを中心におくことは非常に良いと思った。 |
| ※ | 1 | ポスター討論が非常に自由で活気のある議論の場として感じられたため |
| ※ | 1 | ワークショップでは時間オーバーになる演題が多く質問ができなくなるが、ポスター会場で時間を気にせず聞く事が出来た。 |
| ※ | 1 | ワークショップ発表者もポスターを展示しており、ワークショップで聞けなかった、細かいことも、ポスターを前に聞けたのが良かった。また、見たいワークショップが重なっており聞けないことは、ポスターにて聞くことができたのが良かった。 |
| ※ | 1 | 学会とは本来、データを開示して他の研究者との活発なディスカッションをface to faceで行うものであるから。 |
| ※ | 1 | 分野が違えばポスター初見では、深く理解できない事もあるが、あらかじめ、WSでプレゼンしていただいたことによって、理解度が深まったし、必要な情報へのアクセスが簡単になった。 |
| ※ | 1 | ポスター討論では、ディスカッサーからどんな質問が来るのかとても不安でしたが、実際に質問を受けてみるとその内容は大変有意義なもので、活発な討論ができ、今後さらに研究すべき点、勉強すべき点が見え、とても勉強になりました。 |
| ※ | 1 | ワークショップ発表後に同じ演題のポスター発表が行われたことで、ワークショップで気になった部分をポスター発表で速やかに細かく質問・確認することができ、とても充実したため。 |
| ※ | 1 | ポスター発表と口頭発表を比較すると口頭発表に重点を置く学生を何人も知っている。ポスター討論を通じて、自分の研究を発表する貴重な場であることをそういった発表者に対して少しでも自覚させることができるのではないだろうか。 |
| ※ | 1 | WSで興味のある講演が重なる場合、後でポスターで聞けるメリットがあったが、ポスターまで参加していない演者もすくなかった。 |
| ※ | 1 | ポスター討論：時間に制約なく質疑応答ができる ワークショップ：若い研究者が発表できる良い機会。演題が重複している際に都合が良い(聴講時、時間が取れない場合)。 |
| ※ | 2 | 話を聞きたいにもかかわらず、ポスターの前に演者がいないことが多々あった。わかりづらい英語が多く、読みづらかった。 |
| ※ | 3 | とことんは議論できていなかったように思う。 |
| ※ | 3 | 演題の内容に合わせて会場のキャバを考えてくれるとよい。そろそろポスター発表を日本語に戻してはどうか？見てくれは良いが論理構成を重視したほうが、研究の参考になるのではないか？特に若いうちから、見てくればかりにこだわると、議論が上滑りして身にならないのではないか。 |
| ※ | 3 | 失礼ながら、当たり前のことだと思うので。 |
| ※ | 3 | 参加できなかったのが実際どのようなものであったかわからないので。 |

質問7. プログラム集冊子のA5判形態について <複数回答可> (その他)

| ※ | その他記述 |
|---|---|
| ※ | Webアプリの充実でよいのでは？ |
| ※ | 日程で分けるより内容で分類してほしい。 |
| ※ | A5版は小さくて持ち運びやすかった。しかし、字が小さくなって、暗い会場の中では見にくくなったので、その点を改善してほしい。冊子印刷版はモバイルを持っていない者にとっては、失くされると非常に困る。 |
| ※ | 出来れば、文字サイズは今回のサイズとして、A4版にして薄くして欲しい。 |
| ※ | 整理に困るので、A4判を継承して、薄くしてほしい。 |
| ※ | A5判は持ち歩きやすく、大変良かった。 |

質問8. ITシステムについて <複数回答可> (その他)

| ※ | その他記述 |
|---|---|
| ※ | マイスケジュールに登録した要旨や日程が一度に印刷可能だったことが良かった。登録順でなくポスター番号順に並べられるようにしてほしい。 |
| ※ | 今年ではないが、口演会場の暗い中、アプリをつけている見ている人がいて、マナーがないことにはがっかりした。 |
| ※ | iPhone5では画面が小さく見にくいです。 |
| ※ | マイスケジュールの時系列的な管理が見ずらかった。会場ナビも評価するが、改善の余地がまだあると思う。 |
| ※ | アプリになったことはとても良かった。是非とも次回以降もアプリにしていきたい。 |
| ※ | 難しい機能は使わなかったが、全体としては役に立ちました。 |
| ※ | 会場内のWiFiが大変繋がりにくく、電池を消耗してしまうので、WiFiにつなぐのをあきらめた。 |

質問9. シンポジウムについて <複数回答可> (テーマが偏っている)

| ※ | 記述 |
|---|--|
| ※ | 植物のテーマが少ないと感じた。 |
| ※ | 去年のように、やや異なる分野の先生を交えたセッションが多い方が知識の幅が広がって良いと思う。 |
| ※ | 偏っているとまでは思わないが、もう少し幅広くしても良かったのでは |

質問9. シンポジウムについて <複数回答可> (その他)

| ※ | その他記述 |
|---|--|
| ※ | <p>もっと、朝から晩まで発表の機会を設けたほうがよい。ポスターセッションにしても、時間を設けるとその時間だけ人が多すぎて結局討論はできない。ディスカッサーの流れで説明してくれてやっと理解できる内容が多かった。違う意見もあると思うけれども、テーマを絞った講演は他にも機会があるだろうから、そういうテーマはそちらでやっていただいで、一日中学会潰けになるような満足感が得られる学会にしてほしい。海外の学会だと若い人がワクワクする内容を聞くことが多いが、分子生物学会は自分の関心もあるけれども、年々つまらなくなっていく感じがする。そろそろ改組したほうがいいのかももしれない。</p> |
| ※ | <p>英語を母国語のように操っておられる先生のご発表のあと、質問者のつたない英語に対する先生の態度が大変残念なものでした。</p> |

質問10. ワークショップについて（その他）

| ※ | その他記述 |
|---|--|
| ※ | 少ない |
| ※ | 会場に入りきれないセッションが少なからずあった。複数のセッションの演題を渡り歩いて聴講する場合に、特に、厳しい状況となった。 |

質問11. ディスカッサー制について <複数回答可> (その他)

| ※ | その他記述 |
|---|---|
| ※ | 自分のポスターにはディスカッサーが来なかった。一般来訪者から質疑を多く受けていたせいかもしれないが、少し残念だった。 |
| ※ | 希望者を募ったらどうかと思う。ディスカッサーの先生にはお疲れ様でした。学生がやってもいいんじゃないかと思う。 |
| ※ | 著名な先生と話をする良い機会とはなったと思うが、ディスカッサーがいなくても盛り上がる演題は盛り上がる。ディスカッサーを呼び出すアナウンスが度々あり、その都度、アナウンスの声(うるさくて)で演者とのやり取りが中断されてしまった。このようなことが度々おこるならディスカッサーは不要 |
| ※ | ディスカッサーの方が分野外で、実験手法の質問をされるなど全く建設的な議論にならなかった。またディスカッサーの方もその時間は拘束されてしまうので、見たいポスターを見に行くことができなくなるので来年以降はいらないと感じた。 |
| ※ | 参加していないのであくまで一般論ですが、ディスカッサー制を謳っている学会でも、当のディスカッサーが自身の役割の重要性をろくに認識していないために、「担当の列の初めのほうのポスターはじっくりやるが、後に行くにつれて(時間がなくなるため)雑になる」「いきなり現れて、尊大な態度で『じゃあ、3分で分かりやすく説明してくれる?』と言う、等の弊害がありました。今回、どうだったかは分かりませんが、もし同じようなことが起きていたならば、次回からは「ディスカッサーの教育」も真面目に検討すべきではないかな、と思います。ベテランでも若手でも、議論がヘタな人は本当にヘタクソです。 |
| ※ | ディスカッサーは来ない場合もあるのですか。 |
| ※ | 本来は、ディスカッサー無しでも活発な議論がなされるべきで、議論を呼ぶような魅力的な発表が増加することが重要だと思う。近年では、技術の進歩によって、昔では得られなかった測定データが得られるようになっているだけに、生命現象の解析、切り込むような、等、より面白いことができるようになっているはずです。 |

質問12. 一般演題全般について <複数回答可> (その他)

| ※ | その他記述 |
|---|---|
| ※ | ポスター終了時間を30分～1時間早くしてほしい。 |
| ※ | 遠方より参加する発表者に配慮し、ポスターセッションの時間をもっと早めに終わらせるか、時間を昼間にずらしてほしい。また、自由討論の時間は発表の前後ではなく「後」だけで十分だと思う。 |
| ※ | もう一日あってもよかったのでは？ 9時前のセミナーとか、夜のセミナーとか 教育的な内容のセミナーをお願いしたい。 |
| ※ | ポスター討論が中心だったけれども、討論時間が遅く、発表者が交通の都合で帰宅してしまったり、最終日には多くの方が帰宅してしまい十分なポスター討論ができなかったと思う。また、朝にポスターを掲示し夕方に発表だったが、特に聞きたいワークショップがなかったので、暇な時間ができてしまった。 |
| ※ | 一般演題から多くを採用して構成したワークショップについては、玉石混交の感が否めない。ポスターセッションの時間(3時間)はちょうどよい長さと思いますが、ポスター発表の総数が多すぎる(3日間ではこなしきれない数)と感じました。 |

質問13. 企業展示会・バイオテクノロジーセミナー&ミニセミナーについて（その他）

| ※ | その他記述 |
|---|--|
| ※ | 最終日にもランチョンセミナーを実施してほしい。 |
| ※ | 例年より少なく、展示会はまわりやすかったし、ミニセミナーのシステムも良かったが、バイオテクノロジーセミナーが少なくなって、選択肢が狭まったことが気になった。 |

質問14. 本年会の規模について（その他）

| ※ | その他記述 |
|---|---|
| ※ | 大きすぎるとは思うが、学会の規模、内容からして妥当と思う |
| ※ | しょうがないとは思いますが、規模が大きすぎる。そのため、本当に見たい発表を見ることができないこともある。また大きすぎるため内容が玉石混交となっており、玉でなく石でもいいというような学生の発表練習の場にもなってしまう（ように感じてしまう）。 |
| ※ | 本研究分野が活発なので、大きな年会になるのでしょう。運営される皆様には、感謝しています。 |

質問15. 年会の開催形式について <複数回答可> (合同開催が可能な学会にはどのような学会がありますか)

| 記述 | 件数 |
|--|----|
| 生化学会、細胞生物学会 | 1 |
| 日本植物生理学会 | 1 |
| 日本生化学会 | 1 |
| 発生物学会などの生物系の学会ならなんでも。また再生医療学会などの医療と生物系どちらもある学会と組み合わせ てみるのも面白いと思う。 | 1 |
| 免疫学会 | 1 |

質問15. 年会の開催形式について <複数回答可> (その他)

| | |
|---|-------|
| ※ | その他記述 |
| | 記述なし |

質問16. 年会会期が3日間であったことについて <複数回答可> (その他)

| ※ | その他記述 |
|---|--|
| ※ | 分子生物学会単独に戻して、3日間をお願いします。 |
| ※ | 今回は日程が3日間だったこともあり、少しシンポジウムやワークショップが詰め込みすぎている印象を受ける。やはりこの規模なら4日間で開催するべきだと感じた。 |
| ※ | 参加人数や一般演題発表数によると思いますが、今年の3日間は、かなりタイトだと感じました。 |

質問17. 市民公開講座「生命に迫るサイエンス&アートの新たな挑戦」について（その他）

| ※ | その他記述 |
|---|--|
| ※ | 自己満足に終わらずに、一般の人が興味をもてるような分子生物学的な知識の講演あるいはエクスカージョンを企画した方がいとおもう。 |
| ※ | 作品展示はよかったです。アートでしたら、なにか冊子をご用意されたほうがよろしいかと。今後も続けていてもらいたいですし、そのための工夫が必要かと思えます。 |

質問18. その他、年会全般についてのご意見

| ※ | 意見記述 |
|---|--|
| ※ | WS会場がせまくて、入れないことが多かった。会場の大きさの検討がほしい。せっかくアプリが充実しているのに会場内でWiFiが使えないのはナンセンス。会場内で自由にWiFiが使用できるようにしてほしい。 |
| ※ | 要旨をCD版にして送付してほしい。 |
| ※ | 会場が狭く、立ち見が多かった。会場数を増やすか、広い会場を使用する等の対応が必要と思う。 |
| ※ | キャリアパス委員会の企画は意図はわかるが、議論を深めるには時間不足。昨年の「ガチ議論」なみの企画を期待します。 |
| ※ | 今回の年会はよく言えば行儀の良い、悪く言えば退屈な学会という印象でした。今年を振り返れば仕方ないかもしれませんが、もっと冒険してもいいのではと思います。縮んではいけません。 |
| ※ | 週前半(火、水、木)からの開催であったが、週後半(水、木、金)からの開催の方が最終日までの参加者が多かったのではないかと思った。 |
| ※ | ワークショップの会場ひとつひとつが狭すぎる。立ち見どころか、会場に入れないセッションもあり、聞きたい演題が聞けない事が多かったので、非常に不満であった。 |
| ※ | 数年前に比べると参加者や企業ブースもやや規模が小さくなった感が否めないなので、今後も精力的に学会を盛り上げてほしい |
| ※ | 2012年から、福岡、神戸、横浜での日本分子生物学会に参加させていただきました。会場としては、横浜が最も交通の便がよく、ポスター、シンポジウム、企業展示などの会場も離れ過ぎずよかったと思います。次に福岡会場がよかったと思います。 |